

下は1970年、万博の年、上山した写真

仏法領

ぶつぽうりょう

第65号

発行：真宗大谷派

念信寺

〒 824 - 0202

福岡県京都郡みやこ町犀川上高屋761

☎ 0930-42-0329

Fax 0930-42-0502

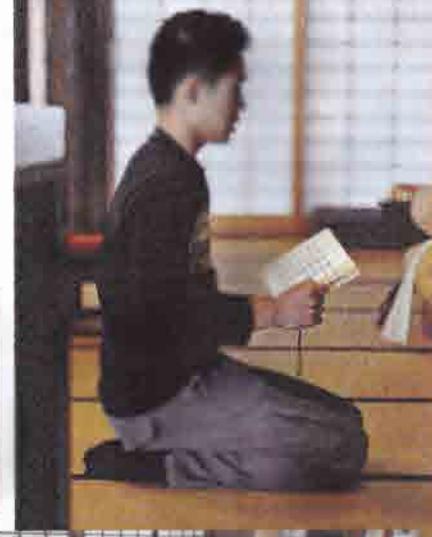
ホームページ

nenshinji.org

故郷と人の温もり

今年のお盆は、子どもやお孫さん、親類の方を呼び寄せて一緒に参りした家庭が例年よりも多かったようです。上の中段写真はその一部です。

一番上の右の写真、それに



それから約五〇年。皆さんお淨土に還られました。当時、私はまだ中学生。初めての京都旅行。夜行列車で、京都、大阪、和歌山の高野山まで出かけ、約二週間の大旅行。

お盆のお参り先で思いがけず、当時の写真をいただきました。珍道中の会話が大変面白く、人の温もりが未だに深いところに残っています。

私が住職を継いでなんとかやつてこられたのは、人は信頼できるものなのだと、いつもセージを、寝食をともにしました。田舎の門徒さんたちから頂いたお陰だとあらためて思い

なにかを引き継いでゆくということ

内には家訓というものがあつて、代々引き継いでゆくべきことがはつきりとしているという家庭もあるかもしません。しかし、そういう立てゆく方法について考えてみました。

門徒のみなさま方に、それは家庭で、家として引き継いでいかれることを何か、お持ちだと思います。今回は、何を引き継いでゆくべきかということではなく、引き継ぐ方法について考えてみました。

このたすき掛けした写真、二つは一九七〇年四月、万博の年に前住職が引率して東本願寺に上山した時のもので。誰が誰だかわかりますか？

それから約五〇年。皆さんお淨土に還られました。当時、私はまだ中学生。初めての京都旅行。夜行列車で、京都、大阪、和歌山の高野山まで出かけ、約二週間の大旅行。

お盆のお参り先で思いがけず、当時の写真をいただきました。珍道中の会話が大変面白く、人の温もりが未だに深いところに残っています。

私が住職を継いでなんとかやつてこられたのは、人は信頼できるものなのだと、いつもセージを、寝食をともにしました。田舎の門徒さんたちから頂いたお陰だとあらためて思い



上高屋酒殿の地蔵堂遠景

(おおさき みづひろ)

(住)

(阿部 正紀)

代
替
り

子は父の背中を見て育ち
親も父の背中を見て育つた

代替り 形はそれぞれだが
いつかは代々残してきた「家」を守り
引き継ぐ時が来る

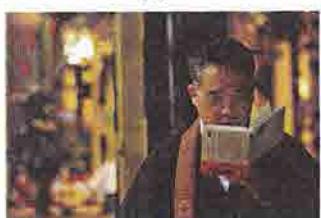
親の生前か死後か

生きている間に
親は子へ何を伝えられる
だろうか

子は親に
何を聞けるだろうか

いつの時代も 苦悩するのだろう

(大迫 光浩)



◆お寺でのイベントご案内◆
「おらが町に来て見て
ギャラリーに参加！」

皆様におかれましては益々お元気でお過ごしのことと存じます。黄金色の稲穂もなくなり、農作業に携わられた方、大変お疲れ様でした。

総代在任中はご協力をいただきありがとうございました。

さて、以前から門徒以外の人たちに性が話し合われて、もお寺を知つてもらいうイベントの必要性が経験が少しあつた私がお話をさせていただき、総代さん方による実行委員会ができました。

法要の世話人会席上で、で経験が少しあつた私がお話をさせていただき、総代さん方による実行委員会ができました。

しかし、何をするにしても御門徒の皆様のご協力が不可欠です。とくに世話人さんに一番ご迷惑をおかけするとお手伝いよろしくお願ひいたします。

実行委員長 吉田 正和

みやこ町は住みやすい環境で、元気で生活できる魅力ある町であることを実感してもらい、そして若人には一層お寺に理解を深め、先人を敬う心を持つていただく、何よりも他地区の方に幅広く上高屋の念信寺を知つていただき、そんな意味から今回、「おらが町に来て見てギャラリー」に参加をすることになりました。

実施日は2016年
10月29日（土曜日）
9時～午後4時まで

30日（日曜日）
9時～午後3時まで

皆様が趣味で作られている手作りの作品展や、農産物等の即売会場（テント）も設けます。出品してくださいの方はお知らせください。

本堂には旧犀川町の町宝、藏持山ゆかりの掛け軸と写経コーナー。茶室でお抹茶の接待をいたします。

また、上高屋自慢の無農薬米のおむすび、ぜんざいを用意させていただきます。

最初ですからあまり無理をせず、皆さんに来て見て楽しんでいただく、そんな気持ちで取り組んでみたいと思います。

しかし、何をするにしても御門徒の皆様のご協力が不可欠です。とくに世話人さんに一番ご迷惑をおかけするとお手伝いよろしくお願ひいたします。

ピアノ・ピアニカ演奏 山口芳弘さん
皆作法要でコンサートしました！
(6月25日夜8時)

ピアノとピアニカを同時に演奏する山口芳弘さん。
念信寺のコンサートは二回目だ。

「ハーブ」だ。

本堂に、一瞬にしてハーブの爽やかな香り

が広がった。

サンタルチーア♪

ボルカラ♪

オクラハマミキサー♪
ダーベンパルシータ♪

と耳馴染みのある

曲を次々に演奏を



オテラクゴ

てら ちくご
お寺で落語します！



初心者でも気軽に楽しく笑えます。
興味のある方は、ぜひいらしてください。

講場所 念信寺本堂（みやこ町犀川上高屋761）

■時間 9月29日（木）夜7時からお勤め、

7時30分から落語

講木戸銭 一人300円

ただしお取扱をくださった方は無料入場券3枚を進呈します。

◆四代目 桂 梅園治（桂 春園治門下・1980年入門／上方落語協会所属）

◆二代目 橋家 蔵之助（橋家 園藏門下・1981年入門／落語協会所属）

◆桂 小梅（桂 梅園治門下・2011年入門／上方落語協会所属）

お問い合わせ：念信寺（TEL：0930-42-0329）

↑ 9月29日夜7時より落語会です。



お寺でイベント

秋彼岸落語会のご案内



何年か前の説明文です。

波浮の港♪
夏は来ぬ♪
ピアノタッチで演奏し、みんなの心揺む。
山口さんが取り出したことになりました。



と日本の歌を優しい

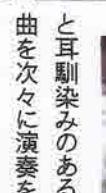


一瞬、地中海のカブエコンサートに立ち寄った氣分になつた。

山口さんの次の演奏が楽しみだ。



続ける。



。



今日は、下伊良原・鎌
河内にお住いの N.M.
さんご夫妻および
K.H.さんご夫妻を紹介いたします。

N.さん宅にお集りねがい、お話を伺いました。



▲ KTさん NH・Kさん

(この記事を書く者のおおいで、抜いたところで、皆さん撮の写真撮影を忘れてお付いた時には既に加藤寿さんは帰宅された後でした。誠にすみませんでした。)

ご主人たちが元気なら、負けじ、とご夫人連もお元気。こちらの元気の秘訣は毎朝の散歩とのこと。

朝八時に集落のご夫人方が集合、散歩開始。現在進行中のダム築堤工事の展望台まで歩く。仕事をサボっている作業員がいるかいなか、チェック。大体十時頃に散歩終了。



だが、それで終わらない。それから約一時間程度誰かの家に集まって、コ一ヒータイム。これが毎日の日課。散歩開始から、しやべり続ける。歩くことよりこれの方がはるかに健康維持に役立つているのではないかと思う。

だけど素晴らしいことですね！

巷で起きるような引き籠り、孤独死など絶対に起きようがありません。

K.夫人がおっしゃるように住めば都ばい、というのが本当だと実感できました。

ご参考までに、ダム工事の出来具合をお知らせして

いろいろのことがあつたそうです。俺の人生は波乱万丈であつた、立派な一

代記ができるともとおっしゃっていた。記者は、本日はそこまでは期待しないで、別の機会にゆづるしかないと私は思っています。

現在でも村役、とび役、肝いりなど七つも役をお持ちだそうです。

台風十二号来襲が、四日になるか五日になるか分からないので、とりあえず部分的に稲刈りも済ませたとのことです。いずれにしろあれこれと活動を続いていることが元気の秘訣かもしません。とにかくお元気。(住職)



(阿部正紀・記)

日時 六月二十四日～二十六日
講師 松月博宣 先生（糸島市 海徳寺）

松月先生の法話をお聞きするのは、私は二度目になります。メリハリのある分かりやすいお話をありがとうございました。「諸仏・菩薩にお札を申す」がタイトルの「永代經」の趣旨だそうです。今回は「自分の人生と仏教」に照準を当ててお話をされました。

まず、「人生は必ず終わりがある」、「死の稽古も必要だ」。そして自分の人生を三段階に分けて見る。第一は親の庇護のも

とで成長する時。第二は仕事・結婚・家庭と責任・充実の時。第三はそれでの役割が終わり、余生の時。大きく変化しているのは、第三時代が長くなつたことです。

長い人生、若い時に見えなかつた多くのものが見え始めます。同時に嘆き、怨みつらみもあって、人生を虚しいものと感じたりもします。

「空過」と言うそうです。が、「救い」もあるのです。

自分の人生をむなしとか、空しい命

だとか思いますか？

逆に自分の人生、みんな意味があつて、何ひとつ無駄はなかつたと思いませんか？

仏道としての人生は「思い通りにいかない永遠の不満足で生きている」、その先にある。限りある命の先に見えている

皆作・永代經法要のレポート

「仮の存在」と「仮縁」のお話もありました。

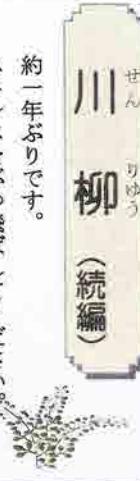
「他力本願」は、何度もお聞きしても私は難度の高い言葉です。私の理解は「この世での命の終わりの先は阿弥陀仏の浄土があつて、ナムアミダブツと称えれば皆帰つて行ける」です。しかし、死後、もう一度会える世界があると思うとか、信じるとかは、簡単に受け容れられない人も多くいると推測します。

凡人の私にはこの文面では上手く表現できません。ただテーマの言葉として「净土とこの世」「阿弥陀仏と私」「阿弥陀仏の光と闇」、そして「この世を生き抜く」を頭に入れて、浄土仏教を学んで行きました。こうして法座でお話をお聞きして、「仮縁」を得て行くのだと思います。



約一年ぶりです。
ストレスをぶつ飛ばしてください。
◎自己新を出し続けてる「この寿命」
◎手術前 暗証番号 子に聞かれ
◎メシまだか 三回言つて 曰が暮れる
◎薄口開け どちらの世界か まず確認
◎知つぱるが 分かつてはいない
◎不景気は 貧乏だから 分かられる
◎宝くじ 外れて貴方の妻でいる
◎いい度胸 何のことない 無知なだけ
◎古い順に 忘れていかない この不思議

川柳（続編）



秋のお彼岸法要ご案内

朝晩すいぶん過ごしやすくなりました。皆さまいかがお過ごですか?ご法座を左のように開催致しますので、どうぞお参りください。

●日時 九月二十八日～三十日

日 時	午後一時半～	午後七時半～
二十八日(水)	法 話	法 話
二十九日(木)	法 話	落語会
三十日(金)	法 話	

●講師

伊藤 元 先生

二十八日昼～二十九日昼席
小倉 徳運寺前住職

落語会
二十九日夜7時から



昨年の秋彼岸法要

梅園治師匠のコメント



東京と大阪、東西の真打が競演する珍しい落語会です。



世話人会議報告



行事予定

●京都組推進員・お掃除会

9月26日(月)午前10時 念信寺にて

●念信寺 世話人会
9月28日(水)午後1時半より念信寺にて

●犀川二十八日講
11月9日(水)午後1時半より念信寺にて

●京都組推進員・お掃除会
9月26日(月)午前10時 念信寺にて



本山納金

本山納金とは、本願寺は全国の門信徒によって成り立つてゐる教団です。それによつて京都の東本願寺ならびに全国30教区の宗務所や宗派の関連組織を運営し、教化活動を行つてゐます。門徒戸数に依つてお寺ごとに本山から依頼される負担金です。宗派の予算は同朋新聞の7月号に公表されてゐます。念信寺そのものの護持金は今のところ、いただいておりません。

お寺の催し・活動



あとがき

今号の巻頭は、「受け継ぐ」をテーマにしました。葬式や法事が遺体やお骨の処理になつて、生き方を受け継ぐ式にならない傾向を感じました。来年3月にできあがる予定です。それまでは親鸞聖人が書かれたお名号をおかけしています。

「秋来ぬと 困はさやかにみえねども 風の音にそ おどろかれぬるの心境です。あまりの暑さで満つて仕事を、この勢いで片付けたいと思います。

所縁のある二人の高座に乞うご期待。どうぞご来場ください。

●皆作永代経彼岸法要

六月二十四日～二十六日
松月 博宣 師

(糸島市)

●春彼岸法要

三月二十五日～二十七日

祖父江 佳乃 師

(名古屋市)

四、ご本尊修復

本堂のご本尊を本格修理するために、滋賀の楽浪文化財修理所に依頼しました。来年3月にできあがる予定です。それまでは親鸞聖人が書かれたお名号をおかけしています。

五、その他

上高屋地区の世話人さんが総代選出のため、全体世話人会の前に集まり話し合いをしました。

「秋来ぬと 困はさやかにみえねども 風の音にそ おどろかれぬるの心境です。あまりの暑さで満つて仕事を、この勢いで片付けたいと思います。

